

令和7年度認知症検診事業の進捗報告について

1 趣 旨

区では、より多くの区民に向けて、認知症に関する普及啓発及び早期支援を行うため、本年度より認知症検診事業の拡充を図り、実施している。令和7年度第1回認知症施策検討専門部会での報告時から現在に至るまでの取組状況について報告する。

2 内 容

(1) もの忘れ検診 **拡充**

これまでの「会場での集団検診」から「協力医療機関での個別検診」に移行し、実施している。

- ① 対象者 当年度に55・60・65・70・75歳を迎える区民
- ② 内 容 ①の対象者に個別に案内を郵送する。認知機能デジタル測定ツール「のう KNOW」等によるセルフチェックを行い、認知機能に不安のある方等は、一定の期間内に自身で指定医療機関を予約し、受診する。
- ③ 医療機関数 区内57カ所
- ④ 受診後の対応 認知機能低下の疑いがある方に対し、専門医療機関の受診勧奨や、必要に応じて高齢者あんしん相談センターによる支援を実施する。また、全受診者に対し、フォローアッププログラムの受講を勧奨する。

(2) 脳の健康度セルフチェック **新規**

- ① 対象者 当年度に56～59歳、61～64歳、66～69歳、71～74歳を迎える区民のうち希望する方
- ② 内 容 定期的に脳の健康に関心を持つ機会を提供するため、「のう KNOW」等によるセルフチェックの機会を提供する。
- ③ 申込方法 電話または電子申請で受付後、セルフチェックに必要な資料を郵送

(3) 文の京あたまとからだの健康フェア **新規**

- ① 対象者 上記(1)(2)の対象者（郵送物に案内を同封）
- ② 内 容 認知症に関する普及啓発及び「脳の健康に良い生活ポイント」等を伝えるイベントを実施する。

3 実施状況

別紙のとおり